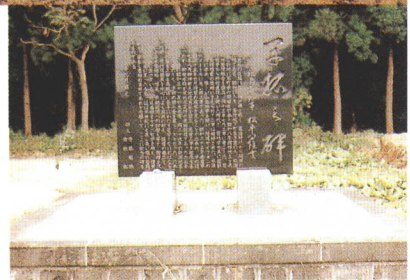


トンネルで、12年もの長い年月とたくさんの費用がかかりました。待ちに待った水が、できあがったばかりの用水路を通してどうどう流れてきたとき、人びとは今までの苦勞を思い、手を取り合って涙を流さんばかりに喜びあいました。

トンネルが多いので、とくに地震や大雨のときはくずれる所が多く、その修理はたいへんでした。村の人びとは力を合わせ、年々開田をふやし、72ヘクタールの水田が開かれました。



▲水田に広がる郷戸地区



▲用水路の完成を記念して建てられた碑

★郷戸原の開たくの方法を道具を使って体験したり、今の郷戸地区の新しい開たく方法を調べてみましょう。



▲広く整備された郷戸原



▲リモコンヘリコプターによる種まき